

優秀賞

お父さんのまほう

愛媛県 愛媛大学教育学部附属小学校二年 若狭 早

お絵かき上手で、おしゃべり上手。ぼくのお父さんは、ホワイトボードの前でも生き生きしています。お父さんは「とくべつしえん学校」ではたらいでいて、なかなかの人気ものです。本当はお父さんをひとりじめしたいですが、

「お父さんはへらないからね。おしごとがおわったら、いっぱいあそぼうね。」

お父さんがこう言うので、ひとりじめはしないようにしています。

ぼくは五・七・五の「はいく」の町、えひめけん松山市にすんでいます。夏には「はいく甲子園」が行われ、高校生のお兄さんお姉さんが日本中からやってくる。ぼくも高校生になったら、はいく甲子園に出たいです。なぜならぼくは、はいくが大スキだからです。きせつのは「きご」を入れて、リズムのよいはいくが作れると、とてもうれしくなります。きれいなものを見たり、楽しいことがあった

りすると、はいくにしてのこしたいなと思います。

お父さんとお母さんは、毎年はいく甲子園のボランティアをしています。おそろいのTシャツをきて、高校生のためにがんばるすがたがかっこいいです。ここでもやっぱり、お父さんは人気もの。お父さんは大会のさいしゅう日、はいくの先生になります。会場に来てくれた小学生のために、はいく教室もひらかれるからです。ぼくは小さい時、早く小学生になってこの教室にさんかしたいなと思っていました。そして小学一年生になり、やっとさんかすることができました。

お父さんは、ホワイトボードにかわいい絵をかいていきます。

「さあ、この絵は何でしょう？」

みんな、ほとんど手をあげます。お父さんはおもしろいことをたくさんします。ハキハキとした声で、はいくのすてきなところをつたえてくれます。さい

しよは、

「はいくって、むずかしそう。」

そんな風に言っていた子も、

「はいくって、楽しい！」

にこにこえがおになりました。お父さんはホワイトボードの前に立つと、まほうがつかえるみたいです。

先生をしているお父さんは、ぼくだけのお父さんではありません。正直に言うと、ちょっとやきもちをやいてしまっています。でも、教室にいる子の楽しそうなすがたを見て、人のためにがんばることはすてきなことだと気づきました。そして、お父さんのまほうのおかげで、はいくずきの子がふえたら。ぼくといっしょにはいく甲子園に出てくれる子が見つかるかもしれません。ぼくはこれから、はいくをつづけたいと思います。

今日もお父さんはおしごとです。ぼくはひとつだけ、おねがいします。

「お父さん、早く帰ってきてね！」

